

さいごに

この度、松ヶ崎自主防災会では、防災の専門家と松ヶ崎の各種団体や、お住まいの皆様にさまざまなご意見をお聞きした上で約1年の準備を経て、松ヶ崎地区防災計画が完成いたしました。現在、松ヶ崎小学校では、新体育館建設を予定されておりました、防災の観点からも、先進的な設備の整った災害時の拠点となることが計画されております。

しかし現在、土砂災害と水害時は、全員が京都工芸繊維大学に避難、震災時は、北山通りを境に南北で別れて小学校と工芸繊維大学に避難する準備をしておりますが、新体育館完成後は、見直しを検討する時期が来るかもしれません。

そこで、私たちは、松ヶ崎自主防災会websiteと町内の掲示板に設置するQRコードを連動して住民以外の人にも、全員に伝達できるように、最新の避難情報を更新できる仕組みを構築しております。そこには、避難所情報の他、インフラに関する問い合わせ先や、避難の際の注意点なども家族で確認していただけるように、正しい状況の発信を目指して、日本語と英文で制作を行っております。

松ヶ崎自主防災会では、これからも「災害が発生する前に備える知識」と「災害が迫っている時に正しい情報を入手する方法」を考察し、学区内の皆様に、伝える努力を続けてゆきます。この度の地区防災計画策定にあたり、左京区役所をはじめ多くの専門家の先生方や各種団体の皆様、毎月のセミナーにご参加いただきました住民の皆様に貴重な意見を賜り、ここに地区防災計画が完成しましたことを感謝申し上げます。

松ヶ崎自主防災会会長 岩澤有徑